



平成 20 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

平成 20 年 1 月 30 日

上場会社名 東洋鋼板株式会社 上場取引所 東証一部・大証一部
 コード番号 5453 URL <http://www.toyokohan.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 厚夫
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 山脇 聡男 TEL (03)5211-6200

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	89,746	△9.7	3,923	△21.3	3,786	△16.0	2,361	△25.0
19年3月期第3四半期	99,370	△1.0	4,984	987.2	4,508	—	3,147	313.6
19年3月期	129,122	—	5,345	—	4,780	—	1,038	—

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期		23.43		—
19年3月期第3四半期		31.23		—
19年3月期		10.31		—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭	
20年3月期第3四半期	124,108		75,036		58.7	722.79	
19年3月期第3四半期	144,000		78,302		52.8	754.22	
19年3月期	132,471		75,090		54.8	719.93	

2. 平成20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日) 【参考】
(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	119,200	△7.7	4,400	△17.7	4,300	△10.0	3,000	188.8	29.77

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧ください。

(参考) 個別業績の概要

1. 平成20年3月期第3四半期の個別業績(平成19年4月1日～平成19年12月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	78,875	△6.2	2,754	△0.6	3,469	△0.4	2,287	△29.7
19年3月期第3四半期	84,132	△3.8	2,771	—	3,482	—	3,254	—
19年3月期	109,357	—	2,417	—	3,082	—	1,216	—

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第3四半期	22.70	—
19年3月期第3四半期	32.30	—
19年3月期	12.07	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第3四半期	111,570	67,682	60.7	671.69
19年3月期第3四半期	130,567	70,962	54.3	704.18
19年3月期	118,933	67,481	56.7	669.64

2. 平成20年3月期の個別業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	104,700	△4.3	3,100	28.2	3,900	26.5	2,100	72.7	20.84

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

通期の業績予想につきましては、連結、個別ともに平成19年11月12日の中間決算発表時に公表しました予想を修正しております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

上記の予想に関連する事項につきましては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報 をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期の当社グループの連結売上高は前年同期比96億23百万円減の897億46百万円、連結営業利益は39億23百万円(前年同期比10億60百万円の減)、連結経常利益は37億86百万円(前年同期比7億22百万円の減)、また税引後の連結当期純利益は23億61百万円(前年同期比7億85百万円の減)の計上となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(1) 鋼板関連事業

① 缶用材料

食缶・飲料缶向けの缶用ラミネート材(ハイペット)は、前半の天候不順の影響がありましたが夏以降は回復傾向にあり、アルミラミネート材が他容器への移行により減少しました。ぶりき、ティンフリースチール(ハイトップ)は180缶向けが前年同期並みとなり、全体としては前年同期を下回りました。

② 電気・電子用材料

電池材はニッケルメッキ鋼板(ニッケルトップ)の拡販に努めた結果好調を維持しましたが、複写機・プリンターなどの事務機・OA機器向けは、海外生産シフトの影響により電気亜鉛メッキ鋼板(シルバートップ)が低調に推移しました。ブラウン管用部材は薄型テレビへの移行が進んだことにより大きく減少し、また、家電向けでは冷蔵庫用の高級化粧鋼板(ビニトップ)が他素材と海外競合材の伸長により減少しました。この結果、全体としては前年同期を大きく下回りました。

③ 建材

内装向けユニットバス用の高級化粧鋼板は拡販に努めた結果増加し、また、外装向け部材の電気亜鉛メッキ鋼板や高級化粧鋼板は需要がやや減少傾向にあるものの前半の好調により増加し、全体として前年同期を上回りました。

④ 車両・産機用材料

ベアリング用の電気亜鉛メッキ鋼板は在庫調整の影響を受けたものの海外向けで回復が見られ、燃料パイプ用のニッケルメッキ鋼板と車ドア用部材の冷延鋼板(トップ)は需要の増加により好調でした。また、梱包資材用の帯鋼も堅調に推移し、全体として前年同期を上回りました。

この結果、鋼板関連事業全体の売上高は、前年同期比68億8百万円減の718億65百万円となり、営業利益は21億71百万円(前年同期比3億61百万円の増)の計上となりました。

(2) 機能材料関連事業

① 磁気ディスク用基板

アルミ基板はデジタル家電への採用が進み需要は増加しているものの、垂直記録方式への急激な移行による影響もあり数量はやや減少し、売上は価格低下のために大きく減少しました。また、ガラス基板は需給バランスの悪化と拠点集約に伴う一時的要因もあり大きく減少し、全体としては数量、売上ともに前年同期を大きく下回りました。

② 硬質合金及び機械器具

好調な産業機械や鉄鋼業に支えられ、硬質合金は樹脂成形機械部品用途や金型用途が好調で拡販の効果もあり、結束装置などの機械器具ともに前年同期を上回りました。

③ クラッド材

クラッド材は、半導体用途の拡販に努めたものの前年同期を下回りました。

この結果、機能材料関連事業全体の売上高は、前年同期比36億59百万円減の172億99百万円となり、営業利益は18億65百万円(前年同期比13億5百万円の減)の計上となりました。

(3) 化成品事業

光学用機能フィルムは、当期より営業生産を開始し、市場への投入拡大に努めています。容器用機能フィルムは、海外の缶用ラミネート材向けに供給を開始しました。この結果、化成品事業の売上高は5億87百万円、営業損益については1億14百万円の営業損失となりました。

なお、各事業の売上高、営業損益は事業間の取引による金額を含んでおります。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、前連結会計年度末に比べ83億62百万円減少して、1,241億8百万円となりました。このうち流動資産は売掛債権及びたな卸資産の減少等により、前連結会計年度末に比べ52億32百万円減少しました。固定資産は、主として保有株式の時価の下落により投資有価証券が減少したことから、前連結会計年度末に比べ31億29百万円減少しました。

負債は、たな卸資産等の仕入債務の減少、長期借入金の返済及び社債の償還等により、前連結会計年度末に比べ83億9百万円減少して490億71百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ53百万円減少して750億36百万円となりました。これは利益剰余金は増加したものの、株式市場低迷に伴いその他有価証券評価差額金が減少したこと等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年3月期(平成19年度)の通期の業績予想につきましては、平成20年1月30日発表の「特別利益及び特別損失の計上に関するお知らせ」で公表しております特別利益及び特別損失の見込みや最近の業績の動向等を踏まえ、平成19年11月12日の中間決算発表時に公表しました業績予想を見直し、次のとおりとすることといたしました。連結業績予想につきましては、売上高1,192億円(前期比7.7%減)、営業利益44億円(同17.7%減)、経常利益43億円(同10.0%減)、当期純利益30億円(同188.8%増)となる見込みで、前回発表予想から売上高及び当期純利益を修正いたしました。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

税金費用の計算等については、一部簡便的な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末 〔平成19年3月期 第3四半期末〕	当四半期末 〔平成20年3月期 第3四半期末〕	(参考) 前期末 (平成19年3月期末)	増 減	
	金 額	金 額	金 額	金 額	増減率
(資産の部)					
I 流動資産					
現金及び預金	12,936	9,450	12,774	△3,324	
受取手形及び売掛金	23,256	20,212	21,353	△1,140	
たな卸資産	23,075	22,416	23,109	△693	
その他	4,982	4,206	4,249	△42	
貸倒引当金	△249	△275	△244	△30	
流動資産合計	64,001	56,010	61,243	△5,232	△8.5
II 固定資産					
(1) 有形固定資産					
建物及び構築物	19,016	19,736	20,369	△632	
機械装置及び運搬具	26,487	20,748	22,166	△1,418	
土地	11,961	11,960	11,961	△1	
その他	4,803	3,007	1,986	1,020	
有形固定資産合計	62,268	55,452	56,483	△1,031	
(2) 無形固定資産	599	652	612	39	
(3) 投資その他の資産					
投資有価証券	13,272	8,061	10,076	△2,014	
その他	3,933	4,014	4,132	△117	
貸倒引当金	△76	△82	△77	△5	
投資その他の資産合計	17,130	11,993	14,131	△2,137	
固定資産合計	79,999	68,097	71,227	△3,129	△4.4
資産合計	144,000	124,108	132,471	△8,362	△6.3

科 目	前年同四半期末 〔平成19年3月期 第3四半期末〕	当四半期末 〔平成20年3月期 第3四半期末〕	(参考) 前期末 (平成19年3月期末)	増 減	
	金 額	金 額	金 額	金 額	増減率
(負債の部)					
I 流動負債					
買掛金	15,101	11,356	13,554	△2,197	
短期借入金	22,298	22,144	22,557	△413	
一年内償還予定社債	3,000	0	3,000	△3,000	
未払法人税等	1,939	1,050	741	309	
役員賞与引当金	0	0	61	△61	
その他	4,837	4,685	5,040	△354	
流動負債合計	47,176	39,237	44,955	△5,718	△12.7
II 固定負債					
社債	5,000	5,000	5,000	0	
長期借入金	5,264	2,161	4,115	△1,953	
退職給付引当金	4,409	2,047	2,002	45	
役員退職慰労引当金	27	34	29	4	
PCB対策引当金	328	328	328	0	
その他	3,489	262	949	△686	
固定負債合計	18,521	9,834	12,425	△2,590	△20.9
負債合計	65,697	49,071	57,380	△8,309	△14.5
(純資産の部)					
I 株主資本					
資本金	5,040	5,040	5,040	0	
資本剰余金	6	6	6	0	
利益剰余金	65,253	65,002	63,145	1,857	
自己株式	△10	△14	△10	△4	
株主資本合計	70,289	70,034	68,181	1,853	2.7
II 評価・換算差額等					
その他有価証券 評価差額金	6,071	3,017	4,215	△1,197	
繰延ヘッジ損益	△6	21	403	△381	
為替換算調整勘定	△349	△241	△250	9	
評価・換算差額等合計	5,714	2,798	4,367	△1,569	△35.9
III 少数株主持分	2,298	2,204	2,541	△337	△13.3
純資産合計	78,302	75,036	75,090	△53	△0.1
負債、純資産合計	144,000	124,108	132,471	△8,362	△6.3

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位: 百万円、%)

科 目	前年同四半期 〔平成19年3月期 第3四半期〕	当四半期 〔平成20年3月期 第3四半期〕	増 減		(参考) 前期 (平成19年3月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I 売上高	99,370	89,746	△9,623	△9.7	129,122
II 売上原価	86,718	78,006	△8,712	△10.0	113,392
売上総利益	12,651	11,740	△911	△7.2	15,729
III 販売費及び一般管理費	7,666	7,816	149	1.9	10,384
営業利益	4,984	3,923	△1,060	△21.3	5,345
IV 営業外収益	406	511	104	25.8	603
V 営業外費用	882	648	△233	△26.5	1,168
経常利益	4,508	3,786	△722	△16.0	4,780
VI 特別利益	6,749	0	△6,749	—	9,514
VII 特別損失	5,720	0	△5,720	—	12,116
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	5,538	3,786	△1,751	△31.6	2,177
税金費用	2,087	1,564	△523	△25.1	672
少数株主利益又は 少数株主損失 (△)	303	△139	△442	—	466
四半期 (当期) 純利益	3,147	2,361	△785	△25.0	1,038

(3) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前年同四半期 (平成19年3月期第3四半期)

(単位:百万円)

	鋼板関連 事業	機能材料 関連事業	計	消 去 又は 全 社	連 結
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	78,674	20,695	99,370	—	99,370
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	262	262	(262)	—
計	78,674	20,958	99,632	(262)	99,370
営業費用	76,863	17,787	94,651	(265)	94,385
営業利益	1,810	3,170	4,980	3	4,984

(注)1. 事業の区分は内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業の主な製品

鋼板関連事業……各種鋼板及びその加工品

機能材料関連事業……硬質合金、電子機器部品、クラッド材、機械器具等

当四半期 (平成20年3月期第3四半期)

(単位:百万円)

	鋼板関連 事業	機能材料 関連事業	化 成 品 事 業	計	消 去 又は 全 社	連 結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	71,865	17,293	587	89,746	—	89,746
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	6	0	6	(6)	—
計	71,865	17,299	587	89,752	(6)	89,746
営業費用	69,694	15,433	702	85,830	(7)	85,822
営業利益 (△は営業損失)	2,171	1,865	△114	3,922	1	3,923

(注)1. 事業の区分は内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業の主な製品

鋼板関連事業……各種鋼板及びその加工品

機能材料関連事業……硬質合金、磁気ディスク用基板、クラッド材、機械器具等

化成品事業……光学用機能フィルム、容器用機能フィルム

(参考) 前期 (平成19年3月期)

(単位: 百万円)

	鋼板関連 事業	機能材料 関連事業	計	消 去 又は 全 社	連 結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	102,838	26,283	129,122	—	129,122
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	269	269	(269)	—
計	102,838	26,553	129,392	(269)	129,122
営業費用	101,091	22,957	124,049	(271)	123,777
営業利益	1,747	3,596	5,343	1	5,345

(注) 1. 事業の区分は内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業の主な製品

鋼板関連事業……各種鋼板及びその加工品

機能材料関連事業……硬質合金、電子機器部品、クラッド材、機械器具等